

## 部署紹介

### 医局

当院では、多職種が連携するチーム医療の実践を重視しています。経験豊かな医師から意欲に満ちた若手医師まで、バランスよく構成された陣容で互いに協力しながら研鑽しています。

精神科救急医療、地域医療はもとより、思春期や依存症、高次脳機能障害などの専門分野に至るまで、様々な領域において、医局員同士情報や意見を活発に交換しながら、質の高い、一貫した医療サービスの提供に努めています。

### 看護部

看護部は「患者さんの人権を尊重し、安全で質の高い看護を提供する」という理念に基づいて、患者さんはもちろん、ご家族の方にも満足していただける看護を目指しています。入院中だけでなく、生活する場を大切に、地域でその人らしい生活ができるように多職種チームで援助しています。

また、精神科看護の専門性を発揮するために、やりがいを持って教育システムや働きやすい職場づくりに努めています。

### 地域連携室

地域連携室には「医師」を筆頭に「精神保健福祉士」「作業療法士」「公認心理師」という4つの職種から構成されるスタッフが配置され、それぞれの職種がその専門性を活かしながら連携することはもちろんのこと、必要に応じて他部門、他機関とも連携し、入院中の患者さんが円滑に退院後の生活に移行できるよう、通院中の患者さんが安定した地域での生活を維持できるよう、日々研鑽し業務に取り組んでいます。



### 薬剤部

医薬品採用の検討や後発薬品の選定、医薬品の確保などの医薬品管理を行い、調剤業務では薬の使用方法、使用量や飲み合わせの確認を行っています。

入院棟での服薬指導や心理教育では分かりやすさを心がけ説明を行っています。

また、医療スタッフからの薬についての問合せに答えることや、薬に関する大切な情報を入手すれば周知を行っています。患者さんに安心・安全な薬物療法を提供できるよう、幅広く業務を行っています。



### 事務部

事務部は総務部門と医事部門に分かれます。総務部門は庶務、経理、物品及び施設管理が中心で、医事部門は施設基準の管理・届出や診療情報の管理等を行っています。また、薬剤部などの各部署にも配置されており、それぞれの部門で業務に取り組んでいます。



正規・有期職員合わせて20名以上の職員が在籍し、「縁の下力持ち」として、病院業務全般を支えています。

### 栄養管理

栄養管理では主に給食管理業務と栄養管理業務を行っています。給食管理業務では患者さんに給食を安全においしく食べて頂けるよう、適時適温で提供しています。また患者さんからの要望に対応できるよう、メニューや味付けを随時見直しています。栄養管理業務では入院時に患者さんごとに関係職種共同で栄養管理計画書を作成し、栄養状態の把握・改善を行う体制をとっています。必要に応じて個別栄養指導、集団栄養指導を実施しています。

## 病院の概要

### ● 病院の紹介

#### ■ 設置・運営主体

地方独立行政法人 山口県立病院機構

#### ■ 診療科目

精神科

#### ■ 許可病床数(令和2年4月1日現在)

180床

#### ■ 主要建物

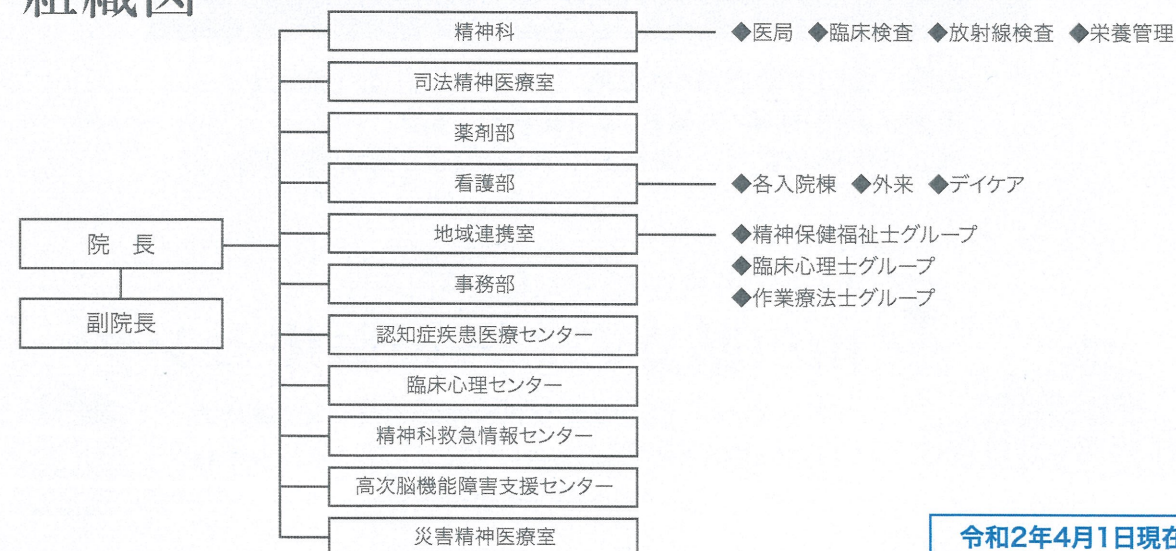
外来棟	約2,400m <sup>2</sup> (地上2階)(平成20年8月新築)
入院棟	約8,300m <sup>2</sup> (地上4階、地下1階)(平成19年3月新築)
	約1,700m <sup>2</sup> (地上2階、地下1階)(平成25年3月新築)
生活療法棟	約1,300m <sup>2</sup> (地上2階)(昭和57年3月新築)



### ● 沿革

昭和28年 9月	宇部市京納に県立病院静和荘開院	平成18年 2月	精神科デイケア開始
43年 11月	宇部市東岐波に移転	18年 4月	「山口県立こころの医療センター」に改称
57年 3月	生活療法棟完成	19年 3月	新入院棟完成・移転
63年 10月	応急入院指定病院に指定	19年 8月	精神科救急入院料算定開始(入院棟4階)
平成12年 7月	精神科救急医療システム事業開始	20年 9月	新外来棟完成・移転
15年 6月	精神科医療24時間電話相談事業開始	23年 2月	医療観察法指定入院医療機関に指定(暫定2床)
16年 12月	精神科救急医療施設に指定	23年 4月	地方独立行政法人山口県立病院機構設立
17年 7月	医療観察法指定通院医療機関に指定	24年 2月	病院機能評価認定(Ver.6.0)
		25年 4月	入院棟増改築(医療観察法病床8床)
		28年 10月	病院機能評価認定(3rdG : Ver.1.1)

### ● 組織図



令和2年4月1日現在